

大内兵衛 弾圧のなか、科学的な財政学を確立、<敗戦>後、マルクス経済学の山脈を形成し、美濃部都知事も実現。

おうちひょうえ

初の対等条約1888 = 兵庫県淡路島の脇田で、七男に生まれる。

帝国憲法発布1889 = 1歳：

日清戦争始・1894 = 6歳：

八幡製鉄始・1897 = 9歳：

洲本中学校，

日露戦争終・1905 = 17歳：

満鉄発足・・1906 = 18歳：

第五高等学校を経て，

明治天皇没・1912 = 24歳：

大正政変・・1913 = 25歳：東京帝大法科大学経済学科を首席で卒業。大蔵省書記官を経て，

21ヶ条要求・1915 = 27歳：

ㄱ 勝江条約・1919 = 31歳：東京帝大に新設された経済学部助教授となるが，

大暴落・・・1920 = 32歳：森戸事件にまきこまれ、失職。

原敬首相暗殺1921 = 33歳：

水平社結成・1922 = 34歳：復職し，

関東大震災・1923 = 35歳：教授となる。

護憲三派圧勝1924 = 36歳：

満州事変・・1931 = 43歳：主著「財政学大綱」上・下。

国際連盟脱退1933 = 45歳：

日中戦争始・1937 = 49歳：

健保+総動員1938 = 50歳：教授グループ事件(人民戦線事件)に連座して、休職。

日米開戦・・1941 = 53歳：

・・・・・1942 = 54歳：

年金+総武装1944 = 56歳：無罪確定，

敗戦・・・・1945 = 57歳：*敗戦後、復職。科学的な財政学を確立し、多くの学者を育て日本のマルクス経済学の一大山脈を形成。大蔵大臣だった渋沢敬三から日銀顧問に迎えられ、東京裁判の証言台にも立った。吉田茂や鳩山一郎からの大蔵大臣への就任要請を断り続けるが、

新憲法施行・1947 = 59歳：吉田茂に請われて、初代の政府統計委員会委員長に就任、統計の再建に尽力する。

極東裁判判決・1948 = 60歳：社会保障制度審議会初代会長を務め、国民皆保険や国民皆年金の創設などを答申。

三大事件・・1949 = 61歳：*定年退官。

朝鮮戦争始・1950 = 62歳：法政大学総長に就任。

独立回復・・1951 = 63歳：

向坂逸郎と共に社会主義協会・社会党左派の理論的指導者の一人として、憲法擁護の運動などに活躍。

美智子妃・・1959 = 71歳：*法政大学総長を退職。

安保闘争・・1960 = 72歳：

大学紛争始・1965 = 77歳：勲一等瑞宝章。

美濃部都知事1967 = 79歳：門下の美濃部亮吉の東京都知事立候補を強く支持して実現させ、一世を風靡する。

平明達意の文章で随筆家としても知られ、多くの経済学書、翻訳、随筆があり、

全共闘ビーク・1969 = 81歳：東大安田講堂事件について論じた文で"大学という特殊部落"と表現して、部落解放同盟の追及を受けた。

ケラップール事件1975 = 87歳：「大内兵衛著作集」全12巻に収められている。

貿易摩擦問題1980 = 92歳：没した。

「没年日本史人物事典」, 平凡社百科事典, 山田風太郎「人間臨終図巻」,